

**製品名: ZFP91 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab20092**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ZFP91 ZNF757 FKSG11
別名	ZFP91 ZNF757 FKSG11
遺伝子 ID	80829.0
SwissProt ID	Q96JP5
免疫原	抗血清はヒト ZFP91 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

## 背景

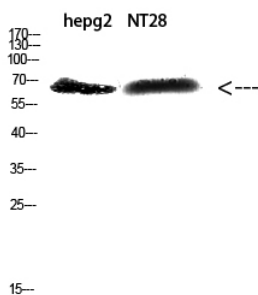
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジンクフィンガーファミリーのタンパク質のメンバーです。遺伝子産物には、多く

の核酸結合タンパク質に見られる古典的なジンクフィンガードメインである C2H2 型ドメインが含まれています。このタンパク質は、リンホトキシン  $\beta$  受容体シグナル伝達における非標準的な NF- $\kappa$ B 経路の調節因子として機能します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。ZFP91 と下流の CNTF 遺伝子配列で構成されるリードスルー転写バリエーションが同定されていますが、非コード領域であると考えられています。マウスでは、ZFP91 と CNTF のリードスルー転写も観察されています。ZFP91 関連の疑似遺伝子も 2 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2010 年 10 月]、疾患：急性骨髄性白血病 (AML) のほとんどの症例 (29 例中 27 例) で過剰発現しています。機能：CNTF は、さまざまな神経細胞タイプの生存因子です。軸索切断後の運動軸索の変性を防ぐと考えられる。機能：転写調節に関与している可能性がある。細胞増殖および / または抗アポトーシスにおいて重要な役割を果たす可能性がある。オンライン情報：毛様体神経栄養因子エントリー、類似性：CNTF ファミリーに属する。類似性：クルッペル C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する。類似性：5 つの C2H2 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット：ホモ二量体。組織特異性：普遍的に発現しており、特に精巣で高レベルである。アイソフォーム 2 は精巣特異的である。組織特異性：神経系。

## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak\_STAT;

## 画像データ



500 倍希釈の抗体を用いた hepg2、NT28 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。